

① 研究課題名：当院におけるInterval Appendectomyの治療成績の検討

② 研究の目的：

名古屋市立西部医療センター消化器外科は、次の研究を実施しています。

腫瘍や膿瘍を形成している虫垂炎の治療には、以下①②の方法があります。

①発症数日以内に緊急手術を行う。

（この治療を Emergency Appendectomy（以下、「EA」）と言います。）

②抗菌薬による保存的治療を行い、症状が落ち着いた後で手術を行う。

（この治療を Interval Appendectomy（以下、「IA」）と言います。）

IAは小児外科領域において、手術時間の短縮や術後合併症を軽減させることから有用であると報告されています。しかし、成人ではまだ明らかになっていません。この研究は、成人におけるEAとIAの手術成績を調査し実態を把握すること、EAに至った原因を検討することを目的としています。

③ 研究期間：

西暦 2019年 7月 ～ 2019年 11月 30日

④ 研究実施施設及び研究責任者

名古屋市立西部医療センター 消化器外科

研究責任者：第二消化器外科 部長 若杉 健弘

⑤ 研究の対象：

2016年4月1日から2019年4月30日までの間に、名古屋市立西部医療センター 消化器外科に入院され、腫瘍形成性虫垂炎及び膿瘍形成性虫垂炎で手術を受けられた方

⑥ 調査項目：

(a) 背景情報：虫垂炎の手術した時点の年齢、疾患名、性別、全入院期間、抗生剤投与前（抗生剤投与開始時）の腫瘍・膿瘍の大きさ、抗生剤投与前の血液検査（白血球数、CRP）

(b) 保存的治療内容：抗菌薬投与期間、使用抗菌薬名、CTガイド下ドレナージの有無、抗生剤投与終了又は中断時（緊急手術時）の腫瘍・膿瘍の大きさ、抗生剤投与又は中断時の血液検査（白血球数、CRP）

(c) 手術に関する情報：手術年月日、術式、手術時間、出血量、ドレーン留置の有無、術後合併症の有無、培養検査の結果、併存疾患

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入し、集計されます。

⑧ 研究成果の公開

日本外科感染症学会で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

本研究は、特に研究資金は必要としません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	消化器外科	若杉 健弘 TEL : 052-991-8121 (代表)